



## 平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月14日

上場会社名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティーズ・グループ  
 コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO  
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) ホーン・チョン・タ  
 (氏名) 佐藤 暢樹

TEL 03-3436-1860

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	1,946	15.3	97	—	△24	—	△170	—
26年12月期第1四半期	1,687	△0.9	△73	—	△110	—	△137	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 △153百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 △161百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△0.62	—
26年12月期第1四半期	△0.50	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	17,015	7,722	44.9
26年12月期	17,430	7,875	44.7

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 7,636百万円 26年12月期 7,788百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年12月期の配当は未定とさせていただきます。

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,600	7.0	140	—	130	—	10	—	0.04
通期	8,000	6.6	430	241.3	330	28.4	80	73.9	0.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期1Q	274,638,934 株	26年12月期	274,638,934 株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	171,995 株	26年12月期	171,017 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期1Q	274,467,542 株	26年12月期1Q	273,992,178 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安、原油安の影響から企業収益が引続き回復基調を維持し、これらが賃金増など実質所得の押し上げに寄与したことから個人消費が緩やかに持ち直すなど、堅調に推移しました。

そのようななか、当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の連結業績は、好調なインバウンド需要を背景にホテル事業の売上拡大が続くとともに、マレーシアにおける消費税導入により霊園事業に駆込み需要が発生するなど、売上高では前年同四半期を上回る1,946百万円(前年同四半期比15.3%増)となりました。費用面におきまして、引続き、ホテル事業において施設間の共通業務一元化を推し進めた結果、営業利益は97百万円(前年同四半期は営業損失73百万円)となりました。しかしながら、営業外損失として当社の保有する豪ドル建て資産に係る為替差損等を計上したことにより、経常損失は24百万円(前年同四半期は経常損失110百万円)となり、また、特別損失として過年度決算の訂正に係る費用について計上したことにより、四半期純損失は170百万円(前年同四半期は四半期純損失137百万円)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

## ①宿泊事業

宿泊事業部門におきましては、好調なインバウンド需要による下支えや、アゴーラ・ホテルアライアンスの拡充等が寄与し、売上高では前期を上回る1,660百万円(前年同四半期比9.8%増)となりました。また、費用面においては、ホテル事業において施設間の共通業務一元化を推し進めた結果、営業利益は94百万円(前年同四半期は営業損失7百万円)となりました。

## ②住宅等不動産開発事業

住宅等不動産開発事業部門におきましては、賃貸マンション市況が停滞するなか、引続き入居率の維持確保と適宜適切な賃貸家賃の見直しに努めました。その結果、売上高はほぼ前年同四半期並みの70百万円(前年同四半期比6.1%減)となり、営業利益は31百万円(前年同四半期比23.5%減)となりました。

## ③霊園事業

霊園事業部門におきましては、本年4月のマレーシアでの消費税導入に伴う駆込み需要により、売上高は前年同四半期を上回る208百万円(前年同四半期比106.0%増)となり、営業利益は20百万円(前年同四半期は営業損失27百万円)となりました。

## ④証券投資事業

証券投資事業部門におきましては、期末にかけ進んだ香港株式市場の株高の影響により、当社が保有・運用する外貨建ての外国証券に係る評価益が発生し、営業利益は6百万円(前年同四半期は営業損失23百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2.4%減少し、17,015百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.9%減少し、3,302百万円となりました。これは、現金及び預金が123百万円、売掛金が56百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し13,654百万円となりました。これは、有形固定資産が59百万円、長期貸付金が32百万円減少したことなどによります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.7%減少し、9,292百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6.7%減少し、3,334百万円となりました。これは、未払金が55百万円、買掛金が79百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、5,958百万円となりました。これは、長期借入金が22百万円減少したことなどによります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.9%減少し、7,722百万円となりました。これは、利益剰余金が170百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見通しにつきましては、現時点で平成27年4月30日に公表いたしました平成27年12月期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,545,255	1,422,036
売掛金	396,612	339,625
有価証券	413,499	418,293
貯蔵品	85,499	51,864
開発事業等支出金	617,979	564,428
その他	531,225	509,286
貸倒引当金	△4,180	△3,327
流動資産合計	3,585,890	3,302,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,950,398	3,906,266
車両運搬具(純額)	18,018	16,489
工具、器具及び備品(純額)	55,633	51,888
土地	3,306,726	3,306,726
住宅用賃貸不動産(純額)	4,656,531	4,646,863
有形固定資産合計	11,987,307	11,928,233
無形固定資産		
借地権	5,000	5,000
商標権	4,311	4,185
ソフトウェア	25,830	23,995
のれん	1,182,188	1,158,724
電話加入権	946	946
無形固定資産合計	1,218,277	1,192,851
投資その他の資産		
投資有価証券	43,381	41,329
長期貸付金	454,644	422,281
その他	70,907	69,851
投資その他の資産合計	568,933	533,463
固定資産合計	13,774,518	13,654,548
繰延資産	70,444	58,284
資産合計	17,430,853	17,015,041

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	331,364	251,829
1年内返済予定の長期借入金	1,622,235	1,591,952
未払金	961,942	906,280
未払費用	25,972	8,209
未払法人税等	31,520	31,684
賞与引当金	—	12,208
ポイント引当金	874	569
過年度調査等諸費用引当金	60,000	74,212
その他	538,240	457,278
流動負債合計	3,572,149	3,334,224
固定負債		
長期借入金	2,544,692	2,521,761
匿名組合出資預り金	2,776,659	2,776,659
長期預り保証金	604,661	605,561
繰延税金負債	5,731	4,590
その他	51,432	50,144
固定負債合計	5,983,177	5,958,717
負債合計	9,555,326	9,292,942
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,423,372	11,423,372
資本剰余金	5,113,499	5,113,499
利益剰余金	△8,685,687	△8,855,834
自己株式	△12,569	△12,614
株主資本合計	7,838,615	7,668,422
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△49,745	△31,448
その他の包括利益累計額合計	△49,745	△31,448
新株予約権	60,863	60,863
少数株主持分	25,792	24,260
純資産合計	7,875,526	7,722,098
負債純資産合計	17,430,853	17,015,041

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	1,687,740	1,946,153
売上原価	1,172,016	1,304,790
売上総利益	515,723	641,363
販売費及び一般管理費	589,317	543,926
営業利益又は営業損失(△)	△73,593	97,436
営業外収益		
受取利息	1,230	1,288
受取配当金	180	—
為替差益	19,221	—
その他	10,859	2,938
営業外収益合計	31,491	4,226
営業外費用		
支払利息	23,929	22,482
為替差損	—	76,094
持分法による投資損失	31,018	4,873
開業費償却	12,159	12,159
その他	1,567	10,439
営業外費用合計	68,676	126,050
経常損失(△)	△110,778	△24,387
特別損失		
固定資産除却損	—	737
過年度決算訂正関連費用	—	50,000
過年度調査等諸費用引当金繰入額	—	19,400
特別損失合計	—	70,137
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純損失(△)	△110,778	△94,525
匿名組合損益分配額	29,270	54,389
税金等調整前四半期純損失(△)	△140,048	△148,914
法人税、住民税及び事業税	1,078	23,809
法人税等調整額	△2,324	△983
法人税等合計	△1,246	22,826
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△138,802	△171,741
少数株主損失(△)	△1,189	△1,532
四半期純損失(△)	△137,612	△170,208

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△138,802	△171,741
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△22,535	18,297
その他の包括利益合計	△22,535	18,297
四半期包括利益	△161,337	△153,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△160,148	△151,910
少数株主に係る四半期包括利益	△1,189	△1,532

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,512,085	74,655	100,999	—	1,687,740	—	1,687,740
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,512,085	74,655	100,999	—	1,687,740	—	1,687,740
セグメント利益又は損失 (△)	△7,748	41,411	△27,546	△23,770	△17,653	△55,940	△73,593

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△55,940千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,660,931	70,131	208,095	6,994	1,946,153	—	1,946,153
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,660,931	70,131	208,095	6,994	1,946,153	—	1,946,153
セグメント利益	94,910	31,690	20,086	6,994	153,681	△56,245	97,436

(注) 1. セグメント利益の調整額△56,245千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。